

ECI事業者選定委員会の業務

長野市大規模施設の長寿命化改修事業に係る
実施設計技術協力事業者選定委員会

令和5年1月19日

長野市 建設部 建築課
公共施設長寿命化推進室

【大規模施設の長寿命化改修の概要】

《事業者選定の対象施設》

エムウェーブ、南長野運動公園（オリンピックスタジアム、体育館・プール）
ビッグハット、若里市民文化ホール、ホワイトリング

➤ 特殊な構造の大空間と特殊な設備をもつ大規模集客施設

《長寿命化改修の主な工事内容》

項目	改修対象部位・改修対象設備等
建物の劣化対策	屋根、防水、外装、内装等
電気設備の更新・改修	受電設備、蓄電池設備、無停電装置、電灯設備、放送設備
機械設備の更新・改修	空気調和設備、給水・給湯設備、運転監視設備
競技設備、イベント用設備の更新・改修	製氷設備、計測表示設備、大型映像設備、特殊音響設備 特殊照明設備、舞台機構設備

1-1 事業手法について

- ◆ 特殊な施設の改修工事は、施工方法や施工手順等が施工費や施工時間に大きく影響
- ◆ 施工者が保有する高度な技術力や施工ノウハウを設計と施工に活かすことが有効

➡ 設計の段階から施工者の技術力を活かせるECI方式を採用

選定方式の特徴	設計段階		施工段階
	基本設計	実施設計	
<p>ECI方式(アーリー・コントラクター・インボルブメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 難工事を効率的に進めるために、H26年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を改正して規定された「技術提案及び価格等の交渉による方式」 ■ <u>基本設計が完了した後で、施工者</u>から技術提案を受け、最も優れた者<u>を選定して実施設計に参画</u>し、併せて、施工の優先交渉権を与えられ、実施設計完了後に価格交渉し、<u>合意に基づき工事契約</u> 		<p>基本・実施設計</p> <p>協力</p> <p>施工者の技術協力</p>	<p>施工</p> <p>契約</p>

【ECI方式の全国事例】

上田市新庁舎整備、小諸市複合型中心拠点誘導施設(こもテラス)整備、豊田スタジアム長寿命化改修、熊谷ラグビー場改修、会津若松市庁舎整備、大田原市新庁舎整備、浜松新医療センター整備 他

- ✓ 今回の工事は、改修内容や備える設備性能、概算費用等を基本設計で具体化した後、当該工事の施工に最適な技術を持つ施工者をプロポーザルで選定し、実施設計段階から施工者が参画するECI方式が適している。

1-2 施設別の事業手法

- ◆ 公契約等基本条例の理念を踏まえ、地元建設事業者で施工できる工事は地元が発注
- ◆ 対象施設の工事内容を検討した結果、エムウェーブとビッグハットには大手建設事業者の技術力が必要と判断

【事業手法のまとめ】

施設名	設計	工事	面積(m ²)	座席数
エムウェーブ	実績ある設計者＋地元設計者のJV	大手建設事業者＋地元建設事業者JV(地元のみJVも可)によるECI	76,223	(固)4,080 (可)3,040
南長野運動公園 体育館・プール		地元建設事業者のみJVによるECI	8,165	450
南長野運動公園 オリンピックスタジアム		地元建設事業者のみJVによるECI	10,844	21,000
ビッグハット		大手建設事業者＋地元建設事業者JV(地元のみJVも可)によるECI	25,570	(固)2,900 (可)2,100
若里市民文化ホール		地元建設事業者のみJVによるECI	6,468	606
ホワイトリング		地元建設事業者のみJVによるECI	19,529	5,000

2 年次計画

- 各施設の改修工事を国民スポーツ大会の前後2期に分けて実施
- 劣化状況を考慮してエムウェーブから着手、各年度事業量を平準化

冬季
国スポ^o 国スポ^o

施設名	年度	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
				第Ⅰ期 R5~R9					第Ⅱ期 R10~14
エムウェーブ			設計		改修工事				スケート会場
南長野運動公園 体育館・プール オリンピック スタジアム				設計		改修工事			バスケット会場
					設計		改修工事		高校野球会場
ビッグハット 若里市民文化 ホール				設計		改修工事			スケート会場
					設計		改修工事		
ホワイトリング					設計		改修工事		バスケット会場
別途検討	アクアウイング			設計		改修工事			水泳会場
	長野運動公園 総合体育館	PFI導入 可能性 調査		設計		想定工事期間			バスケット会場

3 委員名簿

委員氏名	所属団体等	備考
高村 秀紀	信州大学 工学部 建築学科 教授	学識経験者
蒲谷 俊樹	国土交通省 関東地方整備局 長野営繕事務所長	学識経験者
久保田 達也	長野県 建設部 施設課長	学識経験者
中村 裕一	長野市 商工観光部長	施設所管部局
小林 祐二	長野市 文化スポーツ振興部長	施設所管部局
横田 典久	長野市 建設部長	委員長

4 委員会の運営(選定委員会設置要綱の抜粋)

第1《設置》

ECI事業者(施工予定者)の選定に当たり、透明性・公平性を確保しながら、優れた提案を求めるため、選定委員会を設置

第2《任務》

ECI事業者(施工予定者)の選定・提案内容の審査

第4《委員の任期》

大規模施設の長寿命化改修事業に係るECI事業者(施工予定者)の選定が終了するまで(今年度から令和7年まで)

第5《委員長等の職務》

建設部長が委員長となる

委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が、その職務を代理する

第6《会議》

委員会は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる

委員会は、その任務を遂行するため必要があると認めるときは、委員でない者を会議に出席させ、意見を述べさせることができる

5 整備スケジュールと委員会で検討する内容

